

第580回生存圏シンポジウム

生存圏フォーラム特別講演会 京都大学森林科学公開講座



京都大学大学院農学研究科
森林科学専攻
Division of Forest and Biomaterials Science



11月7日(土) 13時30分～

日本の森林資源：海外に 頼らないモノづくり

【場所】 京都大学法経済学部本館1階 第七教室 (zoomのハイブリッド開催)

【生存圏フォーラム会長挨拶】

13:30～13:40 藤井 良一 ((公財) 日本極地研究振興会・理事長、生存圏フォーラム会長)

【森林科学専攻と生存圏研究所の紹介】

13:40～13:50 伊福 伸介 (京都大学生存圏研究所・教授)

参加費無料

【講演】

13:50～14:25 「森林資源と木材利用量 ― 世界と日本の現状 ―」
梅村 研二 (京都大学生存圏研究所・教授)

14:25～15:00 「セルロースナノファイバー - 裏山からクルマを作る -」
矢野 浩之 (京都大学生存圏研究所・特任教授)

15:10～15:45 「国産リグニン資源を用いた高性能分野のプラスチック代替製品の開発」
山田 竜彦 (森林研究・整備機構・上席研究員)

15:45～16:20 「国産材の建築物への利用拡大と新材料の開発」
五十田 博 (京都大学生存圏研究所・教授)

【閉会の辞】 16:20

【申し込み方法】

QRコードあるいは下記のリンクより
お申込みください。10/31まで。



<https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/events/symposium-0580/>



【お問い合わせ】 forum@rish.kyoto-u.ac.jp (京都大学生存圏研究所フォーラム事務局)

【主催】 京都大学生存圏研究所、京都大学農学研究科森林科学専攻

第580回生存圏シンポジウム

生存圏フォーラム特別講演会 京都大学森林科学公開講座



日本の森林資源：海外に 頼らないモノづくり

13:50~14:25

「森林資源と木材利用量 ― 世界と日本の現状 ―」

梅村 研二（京大大学生存圏研究所・教授）

木材は、私たちの暮らしのさまざまな場面で使われています。その源となる森林資源は、現在どのような状況にあるのでしょうか。本講演では、公表されている統計データをもとに、世界と日本の森林資源および木材利用の現状を紹介し、木材利用の持続可能性について考えます。



14:25~15:00

「セルロースナノファイバー - 裏山からクルマを作る -」

矢野 浩之（京大大学生存圏研究所・特任教授）

大気中の二酸化炭素と水から作られ、裏山に豊富に存在するセルロースナノファイバーを使い、軽くて強い材料や透明材料を開発しました。その材料を使って作ったクルマについて紹介します。



15:10~15:45

「国産リグニン資源を用いた高性能分野のプラスチック代替製品の開発」

山田 竜彦（森林研究・整備機構・上席研究員）

地上に多量に存在する天然の芳香族高分子として、リグニンの可能性は高いとされてきたものの、そのポテンシャルを生かした高性能材料への展開には課題が残されています。本講演では、植物種の選定と、抽出過程で生じる化学変化を積極的に利用した独自の改質技術により、工業材料用リグニン素材の開発に成功した事例を紹介します。さらに、高性能プラスチック代替材料としての応用や社会実装の現状について解説します。

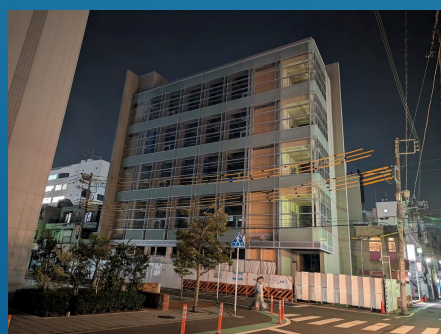


15:45~16:20

「国産材の建築物への利用拡大と新材料の開発」

五十田 博（京大大学生存圏研究所・教授）

木材を使った建築物は住宅規模と思われがちですが、10階建てを超えるような建築物がすでに建てられ、高さ100mに達する高層建築も現在建設中です。それらの木造建築を建てる背景や利点を紹介するとともに、このような建築物を可能にしたマスティンバーと呼ばれる新しい木質材料について概説します。



【お問い合わせ】 forum@rish.kyoto-u.ac.jp（京大大学生存圏研究所フォーラム事務局）

【主催】 京大大学生存圏研究所、京都大学農学研究科森林科学専攻